

平成26年度版

アドバンスメント Advancement

青森県産材を使用した
長期優良住宅



アドバンスメント Advancement

発行:青森県木造住宅生産体制強化推進協議会

事務局 一般社団法人 青森県建築士会

〒030-0803 青森市安方二丁目9番13号

TEL:017-773-2878 FAX:017-723-7105

<http://www.aomori-aba.or.jp>

青森県県土整備部建築住宅課

Advancement (アドバンスメント)

英語で「向上、進歩、前進」を表す言葉。「地域型住宅ブランド」による高品質な木造住宅の建築により、青森県の経済と住生活のこれからをイメージしました。

- 教えて！今、注目される長期優良住宅のこと
- 教えて！住宅性能表示のこと

地域型住宅
ブランド化事業
に採択された
10グループ
を紹介！

発行にあたって

「地域型住宅ブランド化事業」は、国土交通省の補助事業で、地域工務店等とこれらを取り巻く関連事業者が連携体制（グループ）を組み、県産材等を使用し地域の気候・風土にあった良質な「地域型住宅」の供給に取り組むことを支援することにより、地域における木造住宅生産体制の強化を図り、地域経済の活性化やまちなみの維持、木材自給率の向上による森林の再生等に寄与することを目的としています。

そして、採択されたグループに所属する中小住宅生産者等が共通ルール等に基づき長期優良住宅の建設を行う場合、費用の一部が補助されます。本冊子は、平成26年4月10日～5月12日まで公募を行い、選考の結果採択された青森県内10グループの概要をまとめたものです。

目次

GROUP 01	青森型優良住宅「未来tunagu家」	2
GROUP 02	青森県産材合板で作る雪と寒さに強い青森型長期優良住宅	4
GROUP 03	青森県南部地域型住宅「地震と寒さに強い家」	6
GROUP 04	「e住まいんぐ」青森型長期優良住宅システム	8
GROUP 05	「SŌYA」	10
GROUP 06	津軽材活用住宅「雪国の家」	12
GROUP 07	津軽 山の恵みの家	14
GROUP 08	十和田湖杉活用住宅「Waのいえ」	16
GROUP 09	暖かいkizuna 住宅	18
GROUP 10	合法木材で「安心の家」	20
■	教えて！今、注目される長期優良住宅のこと〈長期優良住宅認定制度について〉	22
■	教えて！住宅性能表示のこと〈住宅性能表示制度について〉	24

知っておきたい住宅用語

【雪と寒さに強い青森型省エネ住宅ガイドライン】青森県が策定したガイドライン。低炭素社会づくりに向けた、環境に配慮された住宅の計画・設計・施工と住まい方についての基本的な事項を示している。積雪寒冷地である青森県の地域特性に適應した良質な木造住宅ストックの形成を推進するとともに、県内工務店等の技術力のさらなる向上を図ることを目的としている。

【青森県産材認証制度】証明機関は、青森県産材認証推進協議会。認証基準は、青森県内で伐採された原木を材料として、県内で加工された丸太・製材品等であること。なお、特別な加工などが必要で県外で加工をした製品や集成材等であっても、原材料の50%を上回る量が県内で伐採された原木を材料とするものであれば県産材とみなしている。

【Q値】「熱損失係数」といって、室内外の温度差が1℃の時、家全体から1時間に床面積1㎡あたりに逃げ出す熱量のことを指す（単位はw/m²K）。小さければ小さいほど、熱が逃げにくいので居住性能が良いとされている。

【C値】家の延床面積に対する「隙間面積」の割合を示す数値で、床面積1㎡当たりどれ位（何cm）の隙間が有るかを表現している。この値がゼロに近いほど隙間が少なく、気密性が高いことを意味する。

【スマートハウス】ICT（情報通信技術）を利用して、家電や太陽光発電、蓄電池、電気自動車等をネットワークで接続し一元的に管理する住宅。各機器を連携させることで、より効率的なエネルギー利用と新たな価値を生み出すことができる。

【HEMS（ヘムス）】Home Energy Management Systemの頭文字をとった略称。家庭内の電力使用量と太陽光発電やエネファームなどによる発電を自動計測し、「見える化」することを可能にするエネルギー管理システムの意味。スマートハウスを実現するための技術として位置づけられている。

【CASBEE（キャスピー）】Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiencyの頭文字をとったもので、建築環境総合性能評価システムのこと。省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステム。評価結果が「Sランク（素晴らしい）」から、「Aランク（大変良い）」「B+ランク（良い）」「B-ランク（やや劣る）」「Cランク（劣る）」という5段階のランキングになっているのが特徴。

【LCCO²】Life Cycle CO²の略称。新築時からリフォーム・建て替え時まで、さらに毎日の暮らしを含めた建物の一生（ライフサイクル）の間で排出されるCO²を全て足し、環境への負荷を総合的に考えたもの。

【LCCM 住宅】Life Cycle Carbon Minus 住宅の略称。住宅のライフサイクル全体で排出されるCO²を、さまざまな技術を導入して減少させ、かつ太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用することによって、建物の一生でのCO²の収支をマイナスにする住宅。

【住宅履歴情報】住宅の設計、施工、維持管理、権利及び資産等に関する情報。いつ、だれが、どのように新築や修繕、改修・リフォームを行ったかを記録した住まいの「履歴書」ともいえるもの。通称「いえかるて」。

地域の特性を熟知した地元事業者グループが供給する
青森県産材を効果的に使用した長期優良住宅。

同じ青森県内でも、太平洋側と日本海側地域では気候が違い、冬の積雪量も大きく違います。
それぞれの地域特性を熟知している地元事業者が協力しあい、グループをつくりオリジナルの「住宅ブランド」を創りました。
そのグループと「住宅ブランド」をご紹介します。



建築実例
施工／(有)亜細亜建設
 青森県青森市・H25.1.10完成

GROUP
01

青森型優良住宅「未来tunagu家」

青森県優良住宅協会

青森県の住まいの課題は、冬季のエネルギー消費量の多さや「個別暖房」によるヒートショック、結露、豪雪による落雪、雪庇などの雪害の発生、寒暖の激しさと地震多発による建物劣化の進行があります。当会は、その課題を解決する、青森型優良住宅『未来tunagu家』ブランドを確立しました。

特徴及び共通ルール

- 耐震** **雪と地震に強い家**
 - ・積雪150cm以上の地区は構造材を120mm以上の角材、基礎幅を150mm以上
 - ・積雪150cm未満の地区は構造材を105mm以上の角材、但し、隅柱及び通柱を120mm以上とし、基礎幅を150mm以上
- 省エネ** **寒さに強い家**
 - ・建物の損失係数を1.9以下…Ⅱ・Ⅲ地区、1.6以下…Ⅰ地区
 - ・右記住宅設備より1つ採用
 - ①ペレットストーブ又は薪ストーブの導入
 - ②ヒートポンプ式暖房システムの導入
 - ③第一種換気システムの導入
- 県産材** **県産材を利用した家**
 - ・合法木材、県認証制度、JAS認定いずれも100%取得した材を使用
 - ・青森県産材認証制度によって産地証明のなされた青森ヒバを土台に、青森スギを柱、桁に使用
 - また、構造材の過半に県産材を使用
 - ・羽柄材のうち、10%以上を青森県産材とする



1.LDK：採光を考えた2階リビング。2.主寝室：玄関ホール・洋室とつながる主寝室。ドアを開け放つと開放的な空間に。天井には高さを電動で調整できる室内物干しユニットも設置。3.階段：人感センサーが検知し、自動的に点灯するライトで足元も安全。4.収納：コンパクト住宅ながらも、各部屋には充実した収納スペースを確保。すべて予算内で実現。5.外観：木目調サイディングのシンプルモダンな外観。アールをあしらった玄関の庇は、お客様を優しくもてなす。

ダークブラウンが目を引く外壁に、アールをあしらった庇が特徴的なブランド住宅。ひとり住まいであるため、約25坪とコンパクトな延床面積でありながらも、窓を大きく配するなど、十分な広さを感じられるよう設計を工夫。部屋数を増やし、将来家族が増えたときにも対応できる家づくりとなっている。

県産材は主に構造材として使用し、4寸角の土台にヒバ集成材、柱・小割材にスギ集成材が使われている。

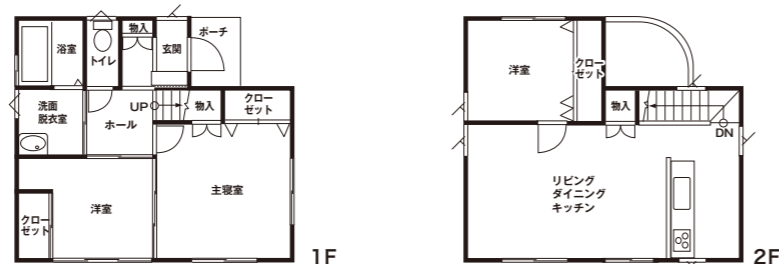
また、「青森県優良住宅協会」の厳しい基準も満たした高气密・高断熱の住まい。高性能断熱材のスタイロフォームを使用したSHS（外断熱）工法や、床下には結露やカビを防止する換気口を設けることにより、高性能住宅を実現。冬の寒さが厳しい青森でも暖房機器はエアコンのみで過ごせ、土間・ポーチには電気融雪システムを設置し、生活の快適性も考慮している。

こうして地域の特性に合わせ、人や環境にやさしく、長く住み継がれる省エネ住宅が誕生した。

県産材の使用量7.86㎡

使用木材と使用箇所

- スギ・集成材／柱・小割材
- スギ・無垢材／羽柄材
- ヒバ・集成材／土台



青森県優良住宅協会

真に元請けの意識を持つ工務店経営者の組織で、国及び地方公共団体と連携しながら、資産価値のある優良木造住宅の建設を促進し、会員の健全なる発展に寄与することを目的としています。

主な活動内容

- 構成員の技術力向上の研修会の実施
- ホームページによる情報公開
- 消費者を対象とした現場見学会の実施
- 地域学生のインターンシップ等に支援し、人材確保に努める

県産材の選定にあたって

青森ヒバは、耐久性に優れていることから、土台など、湿度の高い場所で用いられるほか、木目や木肌の美しさ、独特の香りがあり、柱や内・外装材料として広く利用されています。また、圧縮強度や硬度も高いため、日本全国にそのブランドが認知されています。青森スギは、全国第4位の人工林面積を有しており、森林における総蓄積量のスギの割合は、1975年の14%から、2010年の39%と増加しており、本格的な利用期を迎えています。以上のことから、青森県産材認証を受けた青森ヒバ・青森スギ材とします。

(五十音順)

原木供給		設計		施工会社	
青森県森林組合連合会	青森市松原一丁目16番25号	建築事務所 C-PLAN	青森市第二問屋町四丁目9番7号 ホームタウン芦谷A205	株小嶋建設	五所川原市広田字榊森7-8
青森県木材協同組合	青森市大字高田字川瀬104番1号	株てる設計	弘前市大字末広四丁目3番地の1	株今工務所	五所川原市字元町1番地
製材・集成材製造・合板製造		若松設計	弘前市大字南横町37-1	株サイトーホーム	青森市浜館1丁目6-11
青森県森林組合連合会	青森市松原一丁目16番25号	施工会社		株ササキホーム	十和田市大字洞内字樋口78-682
協同組合 秋田県北木材センター	秋田県大館市川口字上野101番地の1	株あさひほむ	弘前市大字早稲田二丁目2-5	株々富建設	上北郡六戸町大字犬落瀬字下久保174-45
工藤木材	南津軽郡大鰐町字川辺5-20	株長内建設	青森市大字三内丸山238-1	株和建設	青森市大字三内字沢部242-8
小館木材株	青森市大字油川字千刈127-20	株伊藤光建設	弘前市大字高屋字安田615-3	株シラカワ住研	五所川原市広田字榊森54-94
齋藤木材株	青森市沖館3丁目10-1	株岩瀨建築工務所	青森市大字大野字若宮140-29	株高山建設	八戸市大字新井田字八幡川原1-1
株新宅製材所	南津軽郡大鰐町大鰐191	株大平建設	五所川原市大字姥笈字桜木270-1	株田中工務店	上北郡野辺地町字寺沢48
建材流通		株南家建設事務所	黒石市花園町37-1	株鳥谷建設	むつ市仲町4-24
株石郷岡	弘前市大字神田二丁目3番地12	株長内建設	弘前市大字松原西三丁目6-18	株フィンホームズ株	八戸市西白台山3丁目23-1
株丸勝木材	八戸市青葉2丁目12-14	株家口建設	八戸市小中野二丁目14-6	株外館工務店	十和田市東五番町10-20
プレカット		株柏崎組	上北郡おいらせ町立蛇71番地	株大和工業	三沢市松園町2丁目6-20
株ウッドハート	弘前市大字神田二丁目4-17	株喜多山工務店	弘前市大字高屋字福田309-9	株やまの工藤建設	北津軽郡鶴田町大字境字北原73-24
株丸勝木材	八戸市妙字大開5	株黒田建設	青森市南佃2-1-12	株リアルウッド	平川市猿賀南野26-21
				株ワコウ建設株	八戸市湊高台一丁目19-12

青森県優良住宅協会

■代表／日野建ホーム(株) 青森市柳川1丁目2-62 TEL:017-723-6161
 ■事務局／株石郷岡 弘前市神田2丁目3-12 TEL:0172-35-2100 FAX:0172-35-2135

住宅を考える工務店の会

青森県の気候・風土に根ざした住宅の技術研鑽に取り組むと共に、快適で高性能な、また社会資産と成りうる人との地球環境に優しい住宅を創造する工務店の経営基盤の強化を図る為、一般ユーザーへの普及啓発活動及び需要創造に努めます。



これまでの活動内容

平成19年	1月	●地域の新築とリフォームを含めた住宅需要の掘り起こしを図る為、「住宅を考える工務店の会」を設立同日、設立総会にて会長に平野商事(株)代表取締役平野治彦、事務局に同専務取締役平野公彦を選出
	3月	●第1回「春の住宅リフォームフェア」開催
平成20年	3月	●第2回「春の住宅リフォームフェア」開催
	3月	●第3回「春の住宅リフォームフェア」開催
平成21年	3月	●国土交通省「住宅・建築物省エネ改修推進事業」採択決定
	11月	●省エネ改修工事17棟を実施、補助金総額1,900万円 ●「秋の住宅リフォームフェア」開催
平成22年	3月	●第4回「春の住宅リフォームフェア」開催
	3月	●第5回「春の住宅リフォームフェア」開催
平成24年	3月	●宮城県石巻市視察、石巻市及び石巻合板工業㈱の復興状況確認
	6月	●地域型住宅ブランド化事業14棟採択12棟実施
平成25年	3月	●第6回「春の住宅リフォームフェア」開催
	8月	●地域型住宅ブランド化事業18棟採択14棟実施
平成26年	9月	●住宅・建築物省エネ改修等推進事業1900万円採択決定(事業継続中)
	11月	●省エネリフォームフェア開催
平成26年	3月	●長期優良住宅化リフォーム推進事業3棟採択決定(事業継続中)
	6月	●第7回「春の住宅リフォームフェア」開催 ●地域型住宅ブランド化事業20棟採択決定



住宅リフォームフェア

(五十音順)

原木供給		設計	
株式会社ウッドワン	宮城県石巻市港南1-1	株式会社ウッドワン一級建築士事務所	宮城県石巻市港南1-1
上北森林組合	上北郡七戸町字森ノ上87-1	南開成住宅	宮城県石巻市港南1-1
南志田林業	十和田市大字三本木字北平148-11	甲田設計	宮城県石巻市港南1-1
株高橋林業	八戸市南郷区大字市野沢字三合山41-43	設計工房プランズ	宮城県石巻市港南1-1
八戸チップ工業㈱	八戸市大字上野字堀端21-1	株D-LIVE	宮城県石巻市港南1-1
ひろしま木材事業協同組合	呉市広多賀谷3-1-1	株D-LIVE	宮城県石巻市港南1-1
製材・集成材製造・合板製造		プレカット	
石巻合板工業㈱	宮城県石巻市港南1-1	株久保木材店	宮城県石巻市港南1-1
株ウッドワン	宮城県石巻市港南1-1	佐藤木材工業㈱	宮城県石巻市港南1-1
南小笠原製材所	三戸郡五戸町字野月24-4	平野商事㈱	宮城県石巻市港南1-1
上北森林組合	上北郡七戸町字森ノ上87-1	株ファーストインターナショナル	宮城県石巻市港南1-1
株キクモク	いわき市常盤下船尾町杭出作170番地	株丸勝木材	宮城県石巻市港南1-1
中国木材㈱	呉市広多賀谷3-1-1	株ウッドワン	宮城県石巻市港南1-1
二ツ井ハネル㈱	北秋田市川井字横香沢5-130	けんプレカット事業協同組合	宮城県石巻市港南1-1
丸栄木材㈱	八戸市大字長苗代字紺屋町18番地1		
株わかもと	十和田市大字伝法寺字大窪92-5		
建材流通		施工会社	
株久保木材店	十和田市東一番町3-50	株石倉工務店	十和田市東一番町3-50
佐藤木材工業㈱	北海道北斗市追分3丁目1-5	株今泉工務店	十和田市東一番町3-50
平野商事㈱	十和田市東三番町3-41	南岩木建設	十和田市東三番町3-41
株ファーストインターナショナル	八戸市大字廿三日町2番地	株上道建設	十和田市東三番町3-41
株丸勝木材	八戸市青葉二丁目12-14	小笠原建築	十和田市東三番町3-41
プレカット		南要建設	
株ウッドワン	宮城県石巻市港南1-1	南要建設	宮城県石巻市港南1-1
けんプレカット事業協同組合	宮城県石巻市港南1-1		

GROUP 02

青森県産材合板で作る雪と寒さに強い青森型長期優良住宅

住宅を考える工務店の会

青森県産の原木で製造した合板を使用し、雪と寒さに強い青森の省エネ住宅ガイドラインに沿って、建築します。

特徴及び共通ルール

県産材 青森県産材構造用合板で作る在来木造・枠組壁工法

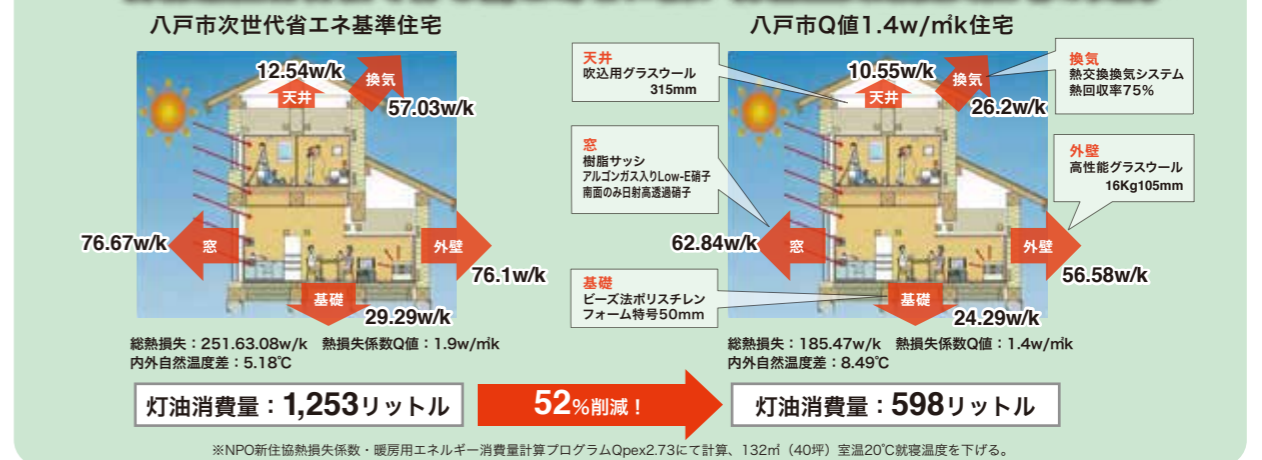
積雪寒冷地である青森県で育った木材は目がつまり建築材料として高い性能を有しています。これらの森林資源を有効活用し、合板については100%以上、その他の木材は50%以上を合法性の証明されたものとし、省エネ性・耐震性・耐久性の優れた住宅づくりを目指します。

省エネ 『雪と寒さに強い青森型省エネ住宅ガイドライン』をベースとした省エネ住宅

青森県作成の「雪と寒さに強い青森型省エネ住宅ガイドライン」における推奨基準(高品位レベル)に準拠した厳しい基準により、高断熱・高气密な住宅づくりを目指します。

- 敷地内に除雪量を少なくする配置計画
- Q値1.4w/mk以下
- 真南±30度の方位に位置する窓の面積を延べ床面積の10%以上
- 真南±30度の方位に位置する窓のガラスの日射進入率を0.5以上
- 降雪に応じた屋根形状と、屋根の積雪の処理方法
- 燃焼式開放型ストーブ以外の機器効率が良い暖房設備を採用
- 熱交換型換気システムを採用

青森県産材合板で作る雪と寒さに強い青森型長期優良住宅の実力



環境 CASBEE戸建-新築にて評価しB+以上

LCCO2削減の観点と将来のLCCM住宅への対応からCASBEE戸建-新築にて評価しB+以上とします。

品質 専門員による検査・技術指導等を実施

グループの設計事務所による構造検査と完成検査を実施します。品質確保委員会を設置し、建築中の現場巡回やグループ員向けの技術研修を行います。

県産材の選定にあたって

青森県産材の原木出荷量は約60万立方メートル(H22年県統計)と多くの原木を生産し、従来輸入材が主力とされていた構造用合板にも国産材を原料とした製品が出回ってきています。構造の耐震性能を向上させる為にも構造用合板の使用は必要不可欠なものとなっております。当会では、青森県産材原木(杉・唐松等)で製造された構造用合板を床・壁・屋根の全ての面材として使用することとします。

さらに、原木供給業者を特定被災区域にある八戸チップ工業(株)(青森県八戸市)・合板製造工場を東日本大震災にて工場が被災した石巻合板工業(株)(宮城県石巻市)とし、被災企業の支援と特定被災区域の雇用確保に寄りたいと考えています。





建築事例
施工 / 家工房
青森県八戸市・H24.12.24完成

GROUP
03

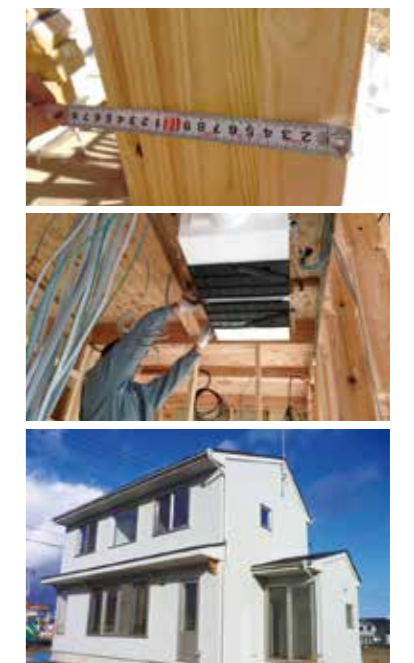
青森県南部地域型住宅『地震と寒さに強い家』

青森県南部地域型住宅を考える会

東日本大震災後、住まいの耐震性を強化する意識が強まったことを受け、一般的長期優良住宅の性能をランクアップし、さらに断熱性能も高めた住まいを提供します。

特徴及び共通ルール

- 耐震** **地震に強い家**
構造計算判定により、耐震等級3を取得し、平成23年3月11日に発生した東日本大震災以上の地震にも耐えられる家とします。
・合法木材の証明された木材を主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に使用
・下地材・仕上材にも積極的に地域材を活用
- 省エネ** **寒さに強い家**
冬の寒さ対策として、住宅のQ値をII地域次世代基準1.9w/mkを超える1.6w/mk以下を必須、1.4w/mk以下を推奨とします。また、日射取得熱の多さを生かすため、南面±30°の窓をできるだけ大きくとり、高透過Low-E複層ガラスを採用します。
- 省エネ** **高効率な設備の採用**
換気による熱損失を削減するため、熱交換型換気システムを採用します。
- 環境** **将来を想定した可変性の高い家**
将来のライフスタイルの変化(高齢者対応・家族構成の変化)に応じた増改築等が容易にできる間取りとします。



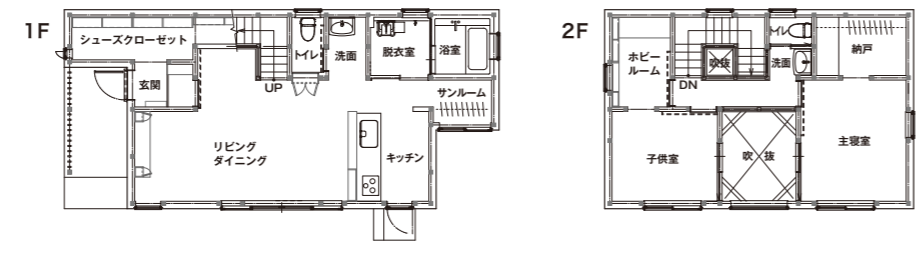
見た目のデザインよりも機能と性能を重視したという施主のAさん。雑誌等で情報収集した結果決めたのが「パッシブソーラーハウス」。

一般的長期優良住宅の性能をランクアップし、耐震等級3、熱損失係数(Q値)を1.3以下に高めている。また、冬期間は太陽光を窓から積極的に取り込み、より省エネルギー性を高めているのも、「パッシブソーラーハウス」の特長。その断熱性能と気密を高めるために、人や環境にやさしい天然木質繊維のセルローズファイバーを壁に約15cm、天井に約30cmの厚さで吹き込んでいる。さらに、換気による熱損失を削減するため、熱交換換気システムを採用。

その他、内装部材には化学物質系のものは使用せず、床には無垢材を使用し、壁や天井には和紙及び青森県産ホタテ貝殻を原料とした、セラミックス塗料を使用している。

1 **リビング吹抜**: 大きな吹き抜けで明るく開放的なリビング。南側には日光を取り込むFIX窓、東西には熱を取り込む室内窓を設置。**2 構造**: 柱と柱の間に斜めに入れる筋交いで、建物のゆがみを防ぎ、構造体の耐震性を高める。(パノラマ合成写真) **3 天井裏**: 断熱用セルローズファイバーを吹き込む前。**4 天井裏**: 30cm以上の厚みになるようしっかり吹き込む。こうすることで、外が暑くても寒くても、家の中は過ごしやすい快適な温度を実現。**5 断熱施工**: 付加断熱として、壁に通常105mm、外側45mmの合計150mmのセルローズファイバー断熱材を充填し、断熱性能を高める。

とかく長期優良住宅はコストが課題になるが「地震と寒さに強い家」ブランドの住宅は、コンパクトで居住性に優れた空間構成により、高コストパフォーマンスを実現している。



青森・岩手・秋田 県産材の使用量8.18㎡
使用木材と使用箇所
●スギ・集成材/柱・小屋束
●ヒバ・青森県産無垢材/土台
●カラマツ・集成材/横架材

青森県南部地域型住宅を考える会

地域型住宅ブランド化事業の説明会に参加し、長期優良住宅の普及と実践が必要だと感じ、南部地域の同じ考えを持つ工務店等に声をかけ、当会を組織しました。

主な活動内容

- 地域ユーザーへの広報活動
- ホームページでの事業の公開
- 構造・完成見学会等の実施

県産材の選定にあたって

青森県の主な森林資源はスギの人工林であるが、その多くが細く、横架材には適さないため、安定的な供給が期待できる各地の認証された森林で生育した合法木材を使用します。なお、推奨基準として北東北3県(青森・秋田・岩手)の認証制度材を積極的に使用します。有資源木材よりも認証された森林で生育された合法木材を使用することにより、将来にわたり安定した供給が期待できます。

(五十音順)

原木供給		南山内製材所		岩館建築設計事務所	
石巻地区森林組合	石巻市大瓜字棚橋下待井65-1	株わかもと	十和田市大字法寺下久保92-5	コアラハウス二級建築設計事務所	八戸市大字河原木小田上26-14
上北森林組合	上北郡七戸町字森ノ上87-1	建材流通			
協同組合秋田県北木材センター	大館市川口字上野101番地の1	色川木材株式会社	八戸市長苗代字上碓田20-1	株タケナカホーム2級建築士事務所	八戸市江陽5丁目14-21
協和木材株式会社	東白川郡埴町西河内鶴巻田10番地	株ザイエンス	千代田区丸の内2丁目3番2号	玉川設計	三戸郡南部町杉沢あけぼの13-83
三八地方森林組合	三戸郡三戸町大字川守田字大沢21の4	佐藤木材工業株式会社	函館市昭和四丁目5番1号	南ナッツ設計工房	八戸市新井田西1-10-16
遠野地区国有林材生産協同組合	遠野市東穀町5-42	株ジャパン建材株式会社	江東区新木場一丁目7番22号新木場タワー	株堀内将人・新・建築設計	三戸郡南部町大向字後渡62-5
ひろしま木材事業協同組合	呉市広多賀谷3-1-1	株ジューテック	港区芝大門1-3-2	施工会社	
製材・集成材製造・合板製造		株中村木材店	八戸市大字美保野13-246	家工房一級建築士事務所	八戸市大字尻内町字中道29-4
石巻合板工業株式会社	石巻市潮見町4番地3	株ファーストインターナショナル	八戸市大字廿三日町2番地	株岩館建設工業	八戸市大字沢里字藤子17-11
上北森林組合	上北郡七戸町字森ノ上87-1	株三善材木店	塩竈市新富町13-1	大澤ホーム(南)	八戸市大字田向字冷水1-5
株キーテック	江東区新木場一丁目7番22号新木場タワー	プレカット		株木組工務店	三沢市栄町三丁目140-832
協同組合秋田県北木材センター	大館市川口字上野101番地の1	色川木材株式会社	八戸市長苗代字上碓田20-1	南ケービーエム	八戸市根城一丁目34-9
協同組合リッチヒル遠野	遠野市青笹町中沢5-11	佐藤木材工業株式会社	函館市昭和四丁目5番1号	株コアラハウス	八戸市大字河原木小田上26-14
協和木材株式会社	東白川郡埴町西河内鶴巻田10番地	設計		株タケナカホーム	八戸市江陽5丁目14-21
三八地方森林組合	三戸郡三戸町大字川守田字大沢21の4	家工房一級建築士事務所	八戸市大字尻内町字中道29-4	南ナッツ設計工房	八戸市新井田西1-10-16
三陸木材高次加工協同組合	気仙郡住田長世米字田谷14-2	大澤設計デザイン事務所	八戸市大字田向字冷水1-5	南北成建設	九戸郡九戸村大字伊保内22-3-3
中国木材株式会社	呉市広多賀谷3-1-1	尾友建築設計事務所	九戸郡九戸村大字伊保内22-3-3	株堀内工務店アーキテクト	三戸郡南部町大向字後渡62-5
				ワナベ建築工房株式会社	八戸市湊町字穴畑1-18

青森県南部地域型住宅を考える会 ■代表 表/株タケナカホーム 八戸市江陽5丁目14-21 TEL:0178-47-0148
■お問い合わせ/株中村木材店 八戸市大字美保野13-246 TEL:0178-38-6822 FAX:0178-30-1380



1 リビング: 続き間の和室を解放すると28.5帖の大空間が広がる。2 キッチン: 奥様こだわりのスペース。食品庫を設け、食器棚も白で統一。3 子ども部屋: 壁一面だけがピンク色で、ドアのキャラクターずりガラスが可愛い。4 外観: 外壁材に光触媒を施している。電気自動車用コンセントも装備。

県産材の使用量 18.9㎡

使用木材と使用箇所
●スギ・集成材/柱 ●ヒバ・無垢材/土台 ●スギ合板/下地



建築実例
施工/株長内建築事務所
青森県弘前市・H25.1.22完成

外観・内観ともに白を基調とした、明るいイメージのブランド住宅。中に入ると、天井高が2600mmで空間に圧倒的な開放感をもたらす。奥様目線を重視し、玄関から靴を履いたままキッチンへ向かうことができる家事動線がポイント。買い物時の荷物運びにも便利。ご主人の希望で和室には掘りごたつを設けた。県産材は主に構造材にスギ集成材、和室の建具に青森ヒバが使われた。また、家全体の使用電力の「見える化」を実現。屋根一体型太陽光発電5.8kwを搭載の光熱費ゼロをめざした省エネ・創エネのスマートハウス。柱はオール4寸構造で、自社使用のFP断熱パネル120mm工法に、窓はオールトリプルガラス、さらに天井に断熱材を吹き込み、優れた断熱力と気密性を発揮。少ないエネルギーでも家全体が常に一定温度を保ち、躯体でしっかりと断熱されていることが実感できる家であった。

GROUP 04

『e住まいんぐ』青森型長期優良住宅システム

有限責任事業組合『元気の出るe住まい』

青森県の気候風土に適した、雪にも寒さにも地震にも強く長く住める安心住宅です。住宅性能も住まい手に「見える化」し、県産材をふんだんに活用しつつ販売価格を抑えた、環境にも経済的にもやさしい住宅です。

特徴及び共通ルール

耐震 雪に強く、長く住めるあんしん住宅

- ・雪や地震に強い耐震等級2
- ・30年間の長期維持保全計画書に基づく1年、5年、10年周期の定期検査業務の実施

省エネ 住まい手に性能が見える化住宅

- ・木造住宅合理化システム 長期性能タイプ『e住まいんぐ』青森型長期優良住宅システムによる住宅性能の見える化
- ・『青森型省エネ住宅ガイドライン』に基づく性能指針必須基準のQ値1.6w/mk以下の住宅
- ・施工マニュアルに基づいた施工方法が見える化住宅

県産材 環境にも住まい手にもやさしい住宅

- ・地域材を主要構造材の50%以上に使用 (地域材及び合板は、青森県産認証又は合法木材証明を受けた材とする)
- ・コストダウンを実行し販売価格に反映させた住まい手にやさしい住宅

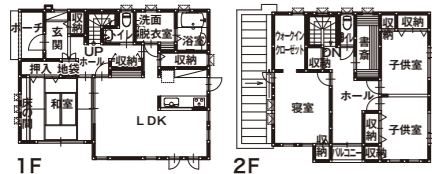


建築実例
施工/株喜多山工務店
青森県弘前市・H25.3完成

屋根の勾配なりの吹抜けに、構造材の梁を現しにした迫力ある大空間のある住宅。

県産材の使用量 12.26㎡

使用木材と使用箇所
●スギ・集成材/柱 ●スギ・合板/下地 ●ヒバ・無垢材/土台 ●カラマツ・集成材/梁・桁

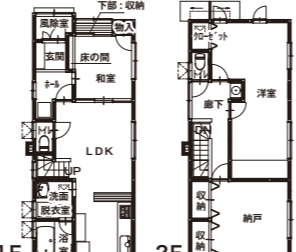


建築実例
施工/株石豊建設
青森県弘前市・H25.3完成

コンパクトな設計の中で、充実した部屋数と機能性を兼ね備えた、快適な住宅。

県産材の使用量 9.72㎡

使用木材と使用箇所
●スギ・集成材/柱 ●スギ・合板/下地 ●ヒバ・無垢材/土台 ●カラマツ・集成材/梁・桁

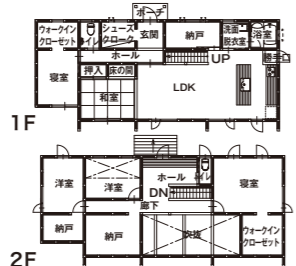


建築実例
施工/玉田工務所
青森県西目屋村・H25.4完成

大きな吹抜けのある開放的な空間演出、木のぬくもりを全面に感じ、心から温まる家。

県産材の使用量 16.00㎡

使用木材と使用箇所
●スギ・集成材/柱 ●スギ・合板/下地 ●ヒバ・無垢材/土台 ●カラマツ・集成材/梁・桁

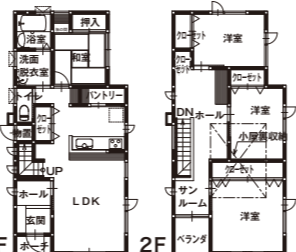


建築実例
施工/株サンクリエイトホーム
青森県青森市・H25.3完成

開放的な梁の見える天井高のリビングと、趣味を共有できる間取り。外装は飽きのこないシンプルモダン。

県産材の使用量 12.19㎡

使用木材と使用箇所
●スギ・集成材/柱 ●スギ・合板/下地 ●ヒバ・無垢材/土台 ●カラマツ・集成材/梁・桁



有限責任事業組合『元気の出るe住まい』

平成21年4月より長期優良住宅の普及活動をしているグループです。青森市と弘前市に『e住まいんぐ』青森型長期優良住宅モデルハウスがあります。平成24年に更なる普及を目指し、長期優良住宅の合理化認定を国内で3番目に取得しました。

主な活動内容

- モデルハウスの設備機器等を利用した、住まい手向け維持管理セミナーの開催
- 造作加工の技術指導の継承
- 新素材(e-wood)の実用化を県産資源活用プロジェクト会議にて推進

県産材の選定にあたって

地域材は青森県産材認証を受けた青森ヒバ材、青森杉材、青森唐松材、若しくは合法木材証明を受けた材とします。また、(財)日本住宅・木材技術センターより認定を受けた木造住宅合理化システム 長期性能タイプを利用し、木材性能値より県産材の使用部位を明確にし、断面寸法を部位ごとに選定することにより、構造の安定を確保します。部位の限定、断面寸法を統一することによって省資源化、材料の仕入れ管理の合理化も図れます。現在でも建設している『e住まいんぐ』青森型長期優良住宅でも使用され、安定供給の実績があります。

(五十音順)

原木供給	プレカット	南青森工務店	平川市原田村元88-1
青森県森林組合連合会 青森市松原一丁目16番25号	佐藤木材工業 北海道北斗市追分3丁目1-5	南青森ホーム	平川市尾崎浅井267-2
青森県木材協同組合 青森市大字高田字川瀬104番1号	施工会社	佐藤建築	平川市唐竹堀合115番地1
石巻地区森林組合 宮城県石巻市大瓜字棚橋下待井65番地1	イシオカホーム(株)	株サンクリエイトホーム	青森市富田三丁目16-8
岩手県森林整備協同組合 岩手県盛岡市大沢川原2丁目5番地38	株石豊建設	白取工務店	南津軽郡藤崎町大字富柳字福岡335-2
上北森林組合 上北郡七戸町字森の上87番地1	南岩瀬建築工務所	南心工務店	弘前市大字金屋町5-8
南二和木材 岩手県滝沢市後268番地56	株長内建築事務所	南瀬川建設	上北郡六ヶ所村大字泊字川原75-129
ノースジャパン素材流通協同組合 岩手県盛岡市菜園一丁目3番地6	株大進建設	せんだい建設	平川市高畑前田155-2
製材・集成材製造・合板製造	南太田住建	玉田工務所	弘前市大字南城西二丁目7-4
青森県森林組合連合会 青森市松原一丁目16番25号	奥谷建設	南特進工業	弘前市大字町四丁目1番地2
株今井産業 平川市新館藤山16番地1	小田桐住建	南HOME design CLUB	青森市自由ヶ丘二丁目12-15
上北森林組合 上北郡七戸町字森の上87番地1	南葛西丸幸建設	南丸光建設	弘前市大字大沢字東前田61番地8
木材産業南 五所川原市磯松唐皮31番地	南かわさき住宅	三浦工務店	平川市柏木町柳田134
南協大木材 黒石市浅瀬石字山辺21番地19	菊池工務店	三浦住建	弘前市大字取上三丁目2-6
協同組合秋田県木材センター 秋田県大館市川口字上野101番地の1	株喜多山工務店	未来環境開発南	黒石市吉乃町88
協同組合さんりくらンパー 岩手県気仙郡住田町世田米字田谷20番地5	工藤建築	棟方建築工務所	弘前市大字富田一丁目4-10
三陸木材高次加工協同組合 岩手県気仙郡住田町世田米字田谷14番地2	南工藤工務店	森内建設株	青森市新町1-11-15
西北ブライウッド(株) 宮城県石巻市重吉町1番地7	株ケーオーハウジング	南やまの工藤建設	北津軽郡鶴田町大字境字北原73-24
南二和木材 岩手県滝沢市後268番地56	古川住研	株ヨシマチ	青森市浪岡大字本郷字篠原64-8
建材流通・設計	小松工務店	南ヨコヤマ掘江工務所	弘前市大字茂森町48番地1
株今井産業 平川市新館藤山16番地1	株今工務所	株リアルウッド	平川市猿賀南野26番地21

想家の会

「青森県森林づくり協定」に参加しているフラクタル設計事務所が中心となり、地元青森地域で技能を継承している会社が連携し、青森の未来を想い、環境・安全・次世代育成を創造し地域に貢献・還元する地域型住宅を提供する組織です。



主な活動内容

- スマートハウス及びゼロエネ住宅に向けた勉強会及び意見交換会を継続的に行う
- 青森県林政課と連携し、一般ユーザー様と植林活動を推進する
- 契約者とグループ構成員が治山・育林事業の支援として、契約金額の0.1%を治山育林事業に寄付する
- 地域の消費者や子供たちに住宅についての講習会を実施(青森県教育支援プラットフォームへのサポート活動)
- 一般ユーザーへの啓蒙活動(セミナー形式)を企画開催し、長期優良住宅受注促進。提案スキルの平準化を図る
- 施工・設計構成員の省エネルギー技術講習会への参加を促進

(五十音順)

原木供給、製材・集成材製造・合板製造		施工会社	
上北森林組合	上北郡七戸町字森ノ上87-1	空間工房キュービック・フォー(有)	青森市造道1-4-19
建材流通、プレカット		建築工房アルファ(株)	青森市東大野1丁目20-1
佐藤木材工業株式会社	北斗市追分3-1-5	(株)セントラルホーム	青森市緑2丁目16-21
設計		(株)タフホーム	青森市大字岡町字松本9-9
空間工房キュービック・フォー(有)	青森市造道1-4-19	(株)東北産業	三戸郡五戸町大字豊間内字地蔵平1-865
建築工房アルファ(株)二級建築士事務所	青森市東大野1丁目20-1	(株)プライムハウジング	青森市佃3丁目8-1
(株)東北産業一級建築士事務所	三戸郡五戸町大字豊間内字地蔵平1-865	木材を扱わない流通	
(株)Fractal設計事務所	青森市緑2-16-21	(株)ヤブシタエンジニアリング	青森市緑2-16-2
(株)プライムハウジング二級建築士事務所	青森市佃3-8-1	ヤマメイ(株)	青森市大字田茂木野字阿部野114-71
		(株)吉田産業	八戸市大字廿三日町2

想家の会 ■代表及び事務局/株Fractal設計事務所 青森市緑2丁目16-21 TEL:017-777-5884 FAX:017-721-3563

GROUP
05

「SŌYA」

想家の会

いにしえより白神の山々を背に雪と森に育まれた私達・建工が土地の童子達と青森の未来を想い、良き地の住まいと、良き地の文化をそして良き森を伝えていくことに集まり、青森県のサステナブル(持続可能)な環境を目指し、青森地域に根差した地域型住宅づくりを行っていきます。

特徴及び共通ルール

県産材 雪のちからを想い・受け止める家
(耐雪と耐震に優れた家・高強度な家)

- ・耐震等級3
- ・省エネルギー対策等級4
- ・地域材(合法集成木材、青森県産スギ材)を使用
- ・合法集成木材を主要構造材(柱・梁・桁・土台)に70%使用
- ・下地材、仕上材に青森県産スギ材を積極的に使用

支援 森林整備を促進し、森のちからを想う家

- 青森県林政課と連携し、「青森県森林づくり協定」による関連企業や顧客との協働による森林整備活動を行なっています。
- ・青森県林政課と連携し、年一回植樹活動等を行う(約1,000本)
 - ・治山・育林事業の支援として、請負契約金の0.1%を治山育林事業に寄付を行う
 - ・地域の消費者及び子供たちに青森県教育支援プラットフォームのサポート活動を推進

支援 子供のちからを想い・育てる家

- ・地域の消費者及び子供たちに青森県教育支援プラットフォームのサポート活動を推進



県産材の選定
にあたって

青森県内は多雪地域で無落雪屋根が多く、構造材には一般地域より多くの荷重が掛かるため、強度面に優れ、安定した供給実績があり、かつコストも廉価に抑えられる特色をもつ、PEFC森林認証を受けた合法集成木材を選定しました。青森県産材のスギは、全国第4位の人口林面積を有し豊富な資源に恵まれ、木材産業のみならず、山地災害の防止、二酸化炭素の吸収など公益機能を有しています。当グループでは、下地材、仕上材に使用し、青森県産材の素晴らしさを伝えていくと共にお客様と育林活動を推進していきます。



県産材の選定にあたって

青森県は、津軽・下北両半島に分布する全国ブランドの青森ヒバがあり、全国4位の人工林面積を有します。
 しかし、一方で県内の製材メーカーはスギの羽柄材・下地材や青森ヒバの土台・化粧材を中心に生産しており、乾燥設備を持っていないところが大半の為、グリーン材の供給が多いのが現状です。そのため、家の骨組みとなる構造材の選定において、乾燥もしくは集成の設備をもちKD・集成製品を安定供給できる製材所が極めて限定的な状況です。
 そこで県産材では不足の構造材を、国産合法木材で補完する仕様とします。

土台：樹種は青森ヒバ。青森県の県木でもあり、家の構造上土台に適した樹種である。
 柱・梁・桁：樹種は桧・杉・レッドウッド・ホワイトウッド・米松の無垢材・または集成材とし、国産材の乾燥無垢材および集成材を使用し、構造材に必要な形状の安定性を重視し、コストも考え、合法木材を使用する。

雪国地域型住宅研究会

住宅は、その地域の気候風土によって、それぞれの工夫を凝らし地元の工務店が知恵をしぼって建てられてきました。私たちの地域は、多雪を伴った冬の厳しい気候条件で、一年の半分を過ごさなければなりません。その地域の気候を熟知した地域の工務店が、研究会をつくり、より良い住宅を提供します。



主な活動内容

- 住宅履歴情報登録確認、点検支援
- ホームページによる情報発信
- 地域型住宅の共通のパンフレット等の作成・配布
- 見積書作成、その他図書作成
- 構造見学会・完成見学会の開催
- 省エネルギー・ゼロエネルギー住宅の研修会の開催



省エネルギー・ゼロエネルギー住宅の研修会

(五十音順)

原木供給		設計	
青森県木材協同組合	青森市大字高田字川瀬104-1	遠越建築設計事務所	青森市浜館1-2-3
(有)タカノ	久慈郡大子町大沢686	施工会社	
栃木県森林組合連合会	宇都宮市西一の沢町8-22		
製材・集成材製造・合板製造			
斎藤木材(株)	青森市沖館三丁目10番1号	青森エステート(株)	青森市松原3丁目11-15
中国木材(株)	呉市広多賀谷3-1-1	アシストホーム(株)	青森市大字大野字鳴滝97-1
(株)トーセン	矢板市山田67番地	(株)芦田工務店	青森市千刈三丁目4-26
宮の郷木材事業協同組合	常陸大宮市宮の郷2153-25	(有)亜細亜建設	青森市大字三内字丸山238-1
大水工務店			
青森市港町3丁目4-63			
(有)櫛引工務店			
青森市大字油川字岡田85-8			
(株)黒田建設			
青森市南佃二丁目1番12号			
佐々富建設			
青森市大字三内字沢部242-8			
青菱建設(株)			
青森市本町5丁目3番40号			
豊嶋建築(株)			
青森市浪館前田3-4-30			
プレカット			
佐藤木材工業(株)	北海道北斗市追分3丁目1-5	パワーホーム青森(株)	青森市緑1丁目1番23
ナイス(株)	横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1	(有)真木工務店	東津軽郡平内町大字小湊字小湊181-1
(有)なかにし	五所川原市金木町芦野365-384		

雪国地域型住宅研究会

■代表/斎藤木材株式会社 青森市沖館3丁目10番1号 TEL:017-781-1148
 ■事務局/(株)赤石材木店 青森市石江字江渡37番地 TEL:017-781-7017 FAX:017-781-7025

GROUP 06

津軽材活用住宅「雪国の家」

雪国地域型住宅研究会

雪のある暮らしと、地域材(青森ヒバ)を反映させた地域でルールを定めた長期優良住宅です。

特徴及び共通ルール

環境 無落雪屋根で屋根点検用のタラップがついた、雪の負担が少ない家

・落雪屋根の施行も致します。

品質 住宅履歴と定期点検

長期優良住宅とは、上質な住宅を継続的な維持管理によって長持ちさせることができる住宅です。
 定期点検の時期には、「お知らせメール」が届き長期間にわたる点検忘れを防止します。
 お客様も写真や保証書を入力保存ができます。
 点検時期には、元請と設計が伺います。



省エネ 風除室を設置した、断熱性能の良い家

外気を直接建物内に入れない風除室を設け、断熱性を高めます。

イメージ図面



県産材 土台には、全国ブランドの青森ヒバを使用する家

- ・土台は青森ヒバを使用する
- ・地盤調査を5ポイント以上実施
- ・垂木の高さ60mm以上を使用





建築実例
施工／(有)大平建設
青森県弘前市・H25.1.4完成

津軽 山の恵みの家

津軽工務店会

施主と工務店が一体となり家造りを進め、津軽の杉をより身近に感じ人間と森林の共生を学び、森林の活力を譲り受け、生きる喜び、住む喜びを感じる、豪雪寒冷地型住宅です。

特徴及び共通ルール

県産材 地域特性を強く意識した、雪に強い・寒さに強い長持ちする家

- ・構造材はすべてJAS認定の集成材、基本は3寸5分
- ・津軽地域の山の木をJAS認定工場で集成材として加工し、ISO14001取得の工場ではプレカット加工
- ・青森県産材認証制度によるスギ・唐松の集成材の使用量を主要構造材の50%以上または6㎡以上
- ・下地材の合板にも県産材を使用、さらに内外の仕上げ材にも県産材を使用し 見えがかり2.5㎡以上
- ・プレカットは金物工法

低コスト 手軽な価格設定にして誰もが建てられる家

- ・引渡し後30年の維持管理を計画立案と実施
- ・環境を考え資源循環サイクルを形成するための設計施工<CASBEE評価添付>

環境 資源循環サイクルを形成できる家



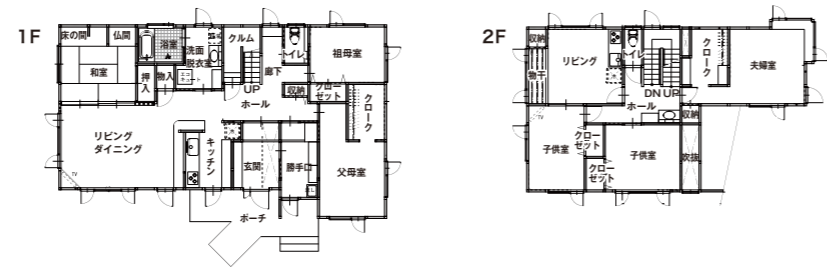
津軽育ちのスギを使用した木のぬくもり溢れる玄関が印象的な、4世代が共に暮らす堂々とした住宅。長期優良住宅認定の耐震等級2、省エネ等級4、そして太陽光発電システム4.2kw搭載、ヒートポンプ仕様のブランド住宅がここに完成した。広々としたクルム（家庭用保冷室）やスロープ、収納の多さなど、それぞれの世帯のライフスタイルを考慮した生活のしやすい設計プランも魅力。玄関とつながる勝手口には、下足の他、衣類掛けや洗い場もあり、農作業や帰宅後の手洗いなど、家族の健康も配慮している。

県産材は主に構造材として用い、室内では和室の建具・造作にヒバの集成材、リビングの腰板にはスギ無垢材を使用している。

地域資源循環型住宅をめざし、山の木を敬ってつけた「津軽 山の恵みの家」。戦後育った県産材の使用時期がちょうど今回のグループ結成時であり、山を再び育てていきたいという想いから考えたとの事。

大平社長は「家は、お客様一人一人皆違いがある。その違いを大事にし、バランス良く造れる工務店を選んでほしい」と家造りへの想いを語った。

1リビング：大きな窓がさらに空間を広く、大きく感じさせる。3.6m開放できるフスマの奥に6帖の仏間が続き間になっている。22階リビング：2階の子世帯用のリビング。手前が子ども部屋。3寝室：岩木山が望める夫婦の寝室。充実した収納スペースも魅力。4腰板：蓄熱材として腰板にスギ無垢材を使用。ピンク色の木肌が柔らかく、あたたかみのある空間に仕上がっている。5玄関と勝手口：木のもつあたたかさ、やさしさが表現された玄関。左側が正面玄関。格子を挟んで右側が勝手口。



県産材の使用量 11.9㎡

使用木材と使用箇所

- スギ・集成材／柱・小桁
- スギ・無垢材／玄関ポーチ・外壁・リビング：腰壁
- スギ合板／屋根下地合板
- ヒバ・集成材／和室：柱・造作材
- カラマツ・集成材／土台・大桁・大梁一部

津軽工務店会

お客様と共に津軽の森林を想い、いかに森林資源を循環させる事が出来るかを、最大のテーマとしたグループです。

また、家を建てたい人「誰もが建てられる価格の家」を実現させるために供給体制の合理化を探求するグループでもあります。

主な活動内容

- ホームページでの事業の公開
- 定例の勉強会などの開催
- 植樹・森林体験ツアー
- 雪降ろしボランティア

県産材の選定にあたって

杉は曲げ強度が低く、やわらかいため、そのままでは建築構造材として使い難い現状です。しかし、非常に加工しやすく成長が早いので潤沢な建築材資源として評価出来ます。杉を構造体として使うために、最も留意しなければいけない点が強度であり、杉原木をJAS認定の集成構造材として加工し、接合金物のプレカット工法で建築する事によりカバーできます。また唐松は杉よりも強度が高く、水に強い性質から土台や梁に適しているため、集成材にする事により、安定した性能が保証されます。

(五十音順)

原木供給		設計	
青森県森林組合連合会	青森市松原1丁目16番地25号	南石田建設	弘前市小金崎一丁目3-2
製材・集成材製造・合板製造		インドヤホーム(株)	弘前市青山四丁目21-2
秋田プライウッド(株)	秋田市川尻町字大川232番地	大平一級建築士事務所	黒石市花園町37-1
南協大木材	黒石市浅瀬石山辺251-19	オサ建設工業(株)	弘前市常盤二丁目7-1
協同組合 秋田県北木材センター	大館市川口字上野101番地の1	オサ建設工業一級建築士事務所	弘前市常盤2丁目7-1
駒井木材(株)	青森市大谷字山ノ内16番地1号	南弘鉄ホーム	南津軽郡藤崎町福館字西田199-1
三陸木材高次加工 協同組合	気仙郡住田町世田米字田谷14-2	南興都建設	黒石市花巻字花巻33-4
建材流通、プレカット、木材を扱わない流通	八戸市大字廿三日町2番地	南心工務店	弘前市金属町5-8
南弘鉄ホーム	南津軽郡藤崎町福館字西田199-1	南心工務店	北津軽郡板柳町福野田字本泉70-19
南興都建設	黒石市花巻字花巻33-4	南スギヤマホーム	弘前市宮園四丁目21-2
南心工務店	弘前市金属町5-8	清野工業	弘前市浜の町東一丁目9-1
南心工務店	北津軽郡板柳町福野田字本泉70-19	南土谷工務所	弘前市石渡二丁目3-13
南スギヤマホーム	弘前市宮園四丁目21-2	南特達工業	弘前市田町四丁目1-2
清野工業	弘前市浜の町東一丁目9-1	南心工務店	北津軽郡板柳町福野田字本泉70-19
南土谷工務所	弘前市石渡二丁目3-13	南石田建設	弘前市小金崎一丁目3-2
南特達工業	弘前市田町四丁目1-2	南三上住宅設計	弘前市水木在家字桜井61-5
南心工務店	北津軽郡板柳町福野田字本泉70-19	南山中技建	弘前市外崎四丁目4-2
南石田建設	弘前市小金崎一丁目3-2	南ヨコヤマ堀江工務所	弘前市茂森町48-1
インドヤホーム(株)	弘前市青山四丁目21-2	南リアルウッド	平川市猿賀南野26-21
大平一級建築士事務所	黒石市花園町37-1		
オサ建設工業一級建築士事務所	弘前市常盤2丁目7-1		
南弘鉄ホーム	南津軽郡藤崎町福館字西田199-1		
南興都建設	黒石市花巻字花巻33-4		
南心工務店	弘前市金属町5-8		
南心工務店	北津軽郡板柳町福野田字本泉70-19		
南スギヤマホーム	弘前市宮園四丁目21-2		
清野工業	弘前市浜の町東一丁目9-1		
南土谷工務所	弘前市石渡二丁目3-13		
南特達工業	弘前市田町四丁目1-2		
南心工務店	北津軽郡板柳町福野田字本泉70-19		
南石田建設	弘前市小金崎一丁目3-2		
インドヤホーム(株)	弘前市青山四丁目21-2		
大平一級建築士事務所	黒石市花園町37-1		
オサ建設工業一級建築士事務所	弘前市常盤2丁目7-1		

津軽工務店会 ■代表／南石田建設 弘前市小金崎一丁目3-7 TEL:0172-92-3025
■事務局／株吉田産業 弘前支店 平川市日沼富田19-7 TEL:0172-57-5555 FAX:0172-57-5577

県産材の選定にあたって

地域材は次の理由から、合法木材認証制度及びJAS木材のSG材を主力とした木材を使用します。●合法木材(1)合法性(2)持続可能性(3)森林認証制度<独立した森林認証機関が定めた基準に基づき、第三者機関が森林を経営する者の森林管理水準を評価・認証する仕組み>(4)分別管理を行い、地球温暖化防止に向けた山づくりを行っていく木材を言います。木材供給から製材、流通、プレカット、工務店、大工、ユーザーまでが一体となり地球温暖化防止に向けた取り組みができ、産地証明が確実にできます。

●「十和田湖杉」は、寒冷、やませ、日照時間が短いなど極めて厳しい環境の中で生育した土地の気候を知り、耐え抜いた木材であり、品格を確かな物にするため、日本農林規格JAS目視等級区分を用いて品格(品質、強度、欠点、含水率等)のある木材を活用し、地域木材の利用促進につなげ多くの方々にその良さをアピールしていきます。



地場工務店 二代目が集結【しんけん会】

平成15年4月地域活性化・住宅性能レベルの向上を図るため、三沢市を中心とする地場工務店二代目21名が集結し、発足しました。以後、設計事務所、木工所等の関係業者も数社加わり、定期的に研修会等を開催し、地域型住宅づくりに向けた技術力の向上、知識の共有等を行っています。



主な活動内容

- 構造見学会及び完成見学会の実施
- ホームページによる情報発信や地元ケーブルテレビのCMによるメディア広告
- 植林事業やボランティア活動への参加
- 売上の一部を植林事業へ寄付(緑の募金等)
- 若手大工や大工を目指す学生等に工事中の物件や完成物件をモデル住宅として提供
- 職場体験や現場勉強等を開催し構成員による技術指導も実施



(五十音順)

原木供給		建材流通	
株式会社ウッディーコイケ	埼玉県秩父市下影森181	色川木材株式会社	八戸市大字長苗代字上碓田20-1
上北森林組合	上北郡七戸町字森ノ上87-1	佐藤木材工業株式会社	青森市新田3丁目4-1
三八地方森林組合	三戸郡三戸町大字川守田字大沢21-4	株式会社下久保建材	三沢市大字三沢字堀口94-1339
株式会社高橋林業	八戸市南郷区大字市野沢字三合山41-43	株式会社丸勝木材	八戸市青葉2丁目12-14
ひろしま木材事業協同組合	広島県山県郡北広島町大朝字船峠5206-36	プレカット	
製材・集成材製造・合板製造		色川木材株式会社	八戸市大字長苗代字上碓田20-1
株式会社ウッディーコイケ	埼玉県秩父市下影森181	佐藤木材工業株式会社	青森市新田3丁目4-1
株式会社小山田製材	三戸郡五戸町大字豊間内字上前田27-1	株式会社タカカツ	宮城県大崎市古川休塚字新西田38-1
上北森林組合	上北郡七戸町字森ノ上87-1	株式会社丸勝木材	八戸市青葉2丁目12-14
南山内製材所	上北郡おいらせ町中平下長根山1-824	設計	
三八地方森林組合	三戸郡三戸町大字川守田字大沢21-4	株式会社渡辺設計	三沢市下久保2丁目11-13
中国木材株式会社	広島県呉市広多賀谷3丁目1-1	施工会社	
ニッポンパネル株式会社	秋田県北秋田市川井字横呑沢5-130	株式会社組工務店	三沢市栄町3丁目140-832
株式会社わかもと	十和田市大字伝法寺字大窪92-5	株式会社サンロク	三沢市桜町1丁目2-7
		株式会社鷹架工務店	上北郡六ヶ所村大字倉内字笹崎572
		株式会社工建築	三沢市松原2丁目31-3746
		株式会社スウィートハイム	三沢市六川目3丁目149
		株式会社大輝住建	三沢市大字三沢字園沢219-51
		株式会社千葉建築	三沢市美野原2丁目20-5
		株式会社畑内建築	三沢市六川目3丁目146-5
		株式会社南平内建築	三沢市大津4丁目12-138
		株式会社二川目建築	上北郡おいらせ町豊栄1丁目181-3
		株式会社丸忠熊谷工務店	三沢市栄町1丁目31-3203
		株式会社南宮古建設工業	三沢市大津1丁目219-120
		株式会社南宮古工務店	三沢市鹿中2丁目58-191
		株式会社山進建設	三沢市岡三沢7丁目31-3
		株式会社大和工業	三沢市松園町2丁目6-20
		株式会社南立建工業	三沢市新町3丁目31-3616

地場工務店 二代目が集結【しんけん会】 ■代表/南平内建築 三沢市大津四丁目12-138 TEL:0176-54-3877 ■事務局/株式会社下久保建材 三沢市大字三沢字堀口94-1339 TEL:0176-50-2131 FAX:0176-50-2132

GROUP 08

十和田湖杉活用住宅「Waのいえ」

地場工務店 二代目が集結【しんけん会】

十和田湖杉活用住宅『Waのいえ』は3つのコンセプトから成り立っています。

- 1.地域の景観・街並みに調【和】すること
- 2.方言で”自分”を意味する【わ】
- 3.資源循環活用、地域活性化・協調の【輪】

地域の歴史風土に培われた生活文化を継承しながら、暮らしと住まいの伝統を現代文化により再生・創造している、環境にやさしい家造りをします。

特徴及び共通ルール

県産材 十和田湖杉を使用した地域資源再発見の家

青森県産材認証制度によって産地証明された青森県産材十和田湖杉を、柱など構造材の過半及び内装材などの一部に使用し、地産地消から地産地活につながる家をめざします。



耐震 雪と地震に強い家

耐震・耐風等級2以上をベースとし、雪国と地震多発に耐えられる家をめざします。

- ・C値1.0cm以下の気密性能を確保
- ・ヒートポンプ式暖房設備機器の採用



低コスト 生涯低コストの家

地域の家守りとして定期的な維持管理を実践し、住宅の長寿命化を目指し、低建設コストと低維持管理費と低光熱費を実現します。

環境 次世代省エネ基準を満たした人と未来にやさしい住まい

住宅性能表示制度の省エネルギー対策等級4をクリアすることをベースとし、青森地域の冬の冷温、夏の高湿多湿に対応する家をめざします。土地にあったパッシブデザインを取り入れ、採光通風を生かしたプランニングとします。健康的な室内環境にも配慮し、生活しやすいユニバーサルデザインの採用(適切な手すり、段差の解消等)をします。また、EV、PHV用のコンセントや電気自動車へのエネルギー供給可能な住宅としてスマートモニターを設置し、エネルギーの見える化による節エネ意欲の向上を促します。



上十三地域優良住宅協議会

地域型住宅ブランド化事業のグループ化に伴い、長期優良住宅普及促進に積極的な工務店に声をかけをし、当会を発足いたしました。



主な活動内容

- 長期優良住宅の普及促進
- 住宅に関する情報提供・管理
- 研修会・セミナー等のイベント企画の実施
- 各種展示会で情報収集し、技術等のレベルアップを図る



(五十音順)

原木供給		(有)高村設計	三沢市松園町二丁目2-25
上北森林組合	上北郡七戸町字森ノ上87-1	東北企画 二級建築設計事務所	三沢市日の出4丁目94-1318
製材・集成材製造・合板製造		(有)みかさ設計	三沢市さつきヶ丘1丁目23-117
上北森林組合	上北郡七戸町字森ノ上87-1	(株)渡辺設計	三沢市下久保二丁目11-13
(株)丸勝木材	八戸市青葉2丁目12-14	施工会社	
建材流通		大久保建設	十和田市八斗沢字家ノ下431-1
ジャパン建材(株)	東京都江東区新木場一丁目7番22号	(有)起田住建	三沢市松原町二丁目31-3522
(有)堀建材センター	八戸市青葉2丁目12-14	(有)佐富建設	上北郡東北町上北南1丁目31-353
(株)丸勝木材	三沢市大字三沢字堀口17-124	(有)杉本建築	三沢市大字三沢字園沢219-442
プレカット		角住宅サービス	三沢市大字三沢字大津58-61
(株)丸勝木材	八戸市青葉2丁目12-14	(株)東北企画	三沢市幸町1丁目10-10
設計		ニッ森建工	三沢市古間木2丁目203-5
(有)起田住建 起田設計事務所	三沢市松原町二丁目31-3522		

上十三地域
優良住宅協議会

■代表 / (有)起田住建 三沢市松原町二丁目31-2522 TEL:0176-53-8396
 ■事務局 / (有)堀建材センター 三沢市大字三沢字堀口17-124 TEL:0176-54-2311 FAX:0176-54-3804

GROUP
09

暖かいkizuna住宅

上十三地域優良住宅協議会

青森県東南部地域の気候に適した、寒さや雪にも強く、地震に強い長期優良住宅です。改正省エネ基準に適合した暖かく、家族が集まり絆が深まる住まいを提供します。

特徴及び共通ルール

省エネ 寒さに強く暖かい家

- ・改正省エネ基準を意識した省エネ性能を基準とする
- ・省エネ性能のある機器を採用し、エネルギー消費量の削減に努める

耐震 地震に強い家

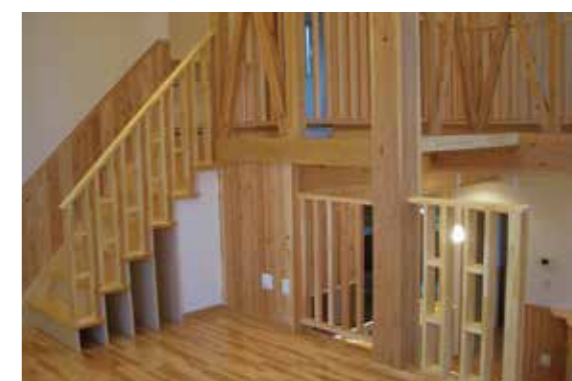
- ・耐震等級2以上を取得
- ・地盤調査を行い、地盤に応じた基礎・地盤補強等を選定、実施し証明書を提示

県産材 県産材を利用した家

- ・地元の地域材を主要構造部(柱・梁・桁・土台)に50%以上使用
- ・県産材を床、又は内壁等の仕上材に9㎡以上使用

品質 すまい手の安心と信頼を確保

- ・内容等を明示した分かりやすい見積書により、住宅コストの見える化と適正な価格を建築主に提示
- ・メンテナンス実施に関する報告書の提出
- ・グループが提携する住宅瑕疵担保責任保険への加入



県産材の選定にあたって

青森県東南部は年間降水量が少なく、夏は短く、冬は厳しい寒さとなります。春から夏にかけて吹く偏東風(ヤマセ)の影響で、濃霧の日が多く地震多発地帯でもあります。また、青森県は県土面積の約7割が森林で、その3分の1をスギが占めていてスギ人工林面積を保有する地域でもあります。当会では、使用する地域材として主に青森県産材認証制度による青森県産材及び合法木材を使用します。主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に地域材を使用し、下地材・仕上材にも積極的に使用します。



優良住宅を考える会

青森ヒバの様な良質な原木も多い事から、県産材と合法木材の普及を推進し、冬期の暖房エネルギーやその費用を補うため、再生可能エネルギーの利用を建築主へ提案しています。



主な活動内容

- 構造見学会・イベント(展示会)の開催
- 青森型省エネ住宅ガイドラインの利用
- 毎年冬期間に内部検討会を実施



見学会打合せの様子

(五十音順)

原木供給		建材流通		施工会社	
青森県木材協同組合	青森市大字高田字川瀬104-1	上北森林組合	上北郡七戸町字森ノ上87-1	アイススタイルホーム	青森市花園2丁目9-30 マンション甲田105
株ウッドワン	廿日市市木材港南1-1	佐藤木材工業株	北斗市追分3-1-5	南岩木建設	十和田市洞内字井戸頭175-1
上北森林組合	上北郡七戸町字森ノ上87-1	ジャパン建材株	江東区新木場1-7-22	南蛇建	上北郡東北町旭南3-452-1
株わかもと	十和田市大字伝法寺字大窪92-5	株丸増ベニヤ商会	江東区木場5-6-4	エビナホーム	上北郡野辺地町字助佐小路59-2
製材・集成材製造・合板製造		ヤマメイ株	青森市田茂木野字阿部野114-71	清川工務店	上北郡東北町字上清水目25
秋田プライウッド株	秋田市川尻町字大川反232	株わかもと	十和田市大字伝法寺字大窪92-5	建築工房クーム南	上北郡七戸町字筑田34-5
石巻合板工業株	石巻市潮見町4-3	プレカット		株野坂工務店	上北郡野辺地町字久田18-5
株ウッドワン	廿日市市木材港南1-1	けせんプレカット事業協同組合	気仙郡住田町世田米字田谷27-2	南丸忠熊谷工務店	三沢市栄町1-31-3203
小館木材株	青森市大字油川字千刈127-20	佐藤木材工業株	北斗市追分3-1-5	南三沢住建	三沢市南山3-219-204
上北森林組合	上北郡七戸町字森ノ上87-1	設計		南宮古工務店	三沢市鹿中2-58-191
駒井木材株	青森市大字大谷字山ノ内16-1	建築工房クーム南	上北郡七戸町字筑田34-5	南ヤマト設計工房	八戸市石堂1-27-14
株わかもと	十和田市大字伝法寺字大窪92-5	設計工房フランス	上北郡七戸町七戸271-4		

優良住宅を
考える会

■代表/ヤマメイ株
■事務局/ヤマメイ株 上北支店

青森市田茂木野字阿部野114-71
上北郡東北町字家の下42

TEL:017-738-9811
TEL:0175-64-1660 FAX:0175-64-1644

GROUP
10

合法木材で「安心の家」

優良住宅を考える会

木造軸組構法と木造枠組壁構法の両方に対応し、長期優良住宅の推進とともに、三八上北地域の住宅市場の活性化と住宅品質の向上を目指します。

特徴及び共通ルール

県産材 青森県産材と合法木材の普及

- 【木造軸組構法】
 - ・105mm角以上の杉材を管柱・小屋束・下地材に青森県産材認証の木材を使用
 - ・床下地材・屋根下地材には業界団体認証制度による合法性証明の構造用合板を利用
- 【木造枠組壁構法】
 - ・業界団体認証制度による合法性認証の構造用合板を床・壁・屋根に利用



維持保全 地域住宅の超寿命化

- ・第三者機関の「いえかるて」を導入し、維持管理記録を10年間保管する
- ・メンテナンス計画表・点検チェックリストの作成
- ・引き渡し後も、イベント(展示会)の案内や季節ごとの案内状を配布し長期に渡る施主との交流を行い、住宅の維持管理に努める

環境 再生可能エネルギーの利用

- ・高効率の給湯機やヒートポンプ暖房の設置と太陽光発電システムの導入を推進
- ・機材の性能表や新しい提案の資料を作成し、各メーカーの協力のもと研修会を開催
- ・トリプルLow-E硝子の高性能断熱サッシや、負荷断熱の使用でQ値の向上を研修会で取り上げ、住宅性能向上の推進

品質 「安心の家」主なポイント

- ①シックハウス対策……ホルムアルデヒドを吸収分解する性能を付加したせっこうボード「ハイクリンボード」を使用します。
- ②地盤対策……地盤調査と地盤改良を義務としています。
- ③技術向上対策……住宅省エネルギー施工技術者講習を受講し、グループ施工業者の技術向上を目指します。

県産材の選定 にあたって

・青森県の森林面積の3割にあたる20万Haの杉は伐採期ですが、杉柱の使用は高い水分量と低い強度が問題となる為、横架材(梁・土台・桁)には使用せず、管柱や小屋束と羽柄材のみに青森県産材認証の含水量16%以下の強度が判断できる乾燥杉材を使用します。

・構造用合板は価格変動する建材ですが、東北で生産されており、秋田プライウッド(株)や被災地である宮城県石巻合板工業(株)にグループへ参加して頂きました。建材流通事業者で確保を行い、安定を図れる建材です。



10項目の認定基準

<p>1 耐久性</p> <p>数世代住み継ぐ構造躯体である。 ◎住宅性能評価 劣化対策等級3以上</p>	<p>2 耐震性</p> <p>極めて稀に発生する地震に対し、継続維持のための改修が容易に行えるよう損傷レベルの低減が図られている。 ◎住宅性能評価 耐震等級2以上</p>	<p>3 維持管理更新の容易性</p> <p>「清掃・点検・補修・更新」などの維持管理を容易に行えるよう必要な措置が講じられている。 ◎住宅性能評価 維持管理対策等級3以上</p>	<p>4 可変性 (共同住宅)</p> <p>家族のライフスタイルの変化等に応じて、間取りの変更が可能な措置が講じられている。</p>	<p>5 バリアフリー性 (共同住宅等の共用部分)</p> <p>将来のバリアフリー改修に対応できるよう、共用廊下等に必要スペースが確保されている。</p>
<p>6 省エネルギー性</p> <p>必要な断熱性能等の省エネ性能が確保されている。 ◎住宅性能評価 省エネルギー対策等級4以上</p>	<p>7 住戸面積</p> <p>戸建て住宅の場合は75㎡以上、良好な居住水準を確保するための必要な規模を有する。</p>	<p>8 居住環境</p> <p>地域の街並みに調和した景観形成、居住環境の維持及び向上に配慮されている。</p>	<p>9 維持保全の方法</p> <p>建築時から、将来を見据えた定期的な点検・補修等の計画がある。</p>	<p>10 資金計画</p> <p>住宅支度金のほか、将来の改築改修等に備えた資金計画がある。</p>

2 認定基準



長期優良住宅は、住宅の構造や設備が「長期にわたって使用可能な構造体」であることが基本となるんじゃない。なかでも10項目の認定基準の内、耐久性、耐震性、維持管理・更新の容易性、可変性、バリアフリー性、省エネルギー性については、「住宅性能表示制度」(次項)の基準を基本に設定されているんじゃないよ。

認定長期優良住宅に対する税の特例措置

減税措置	認定長期優良住宅				
	居住開始年	控除対象借入限度額	控除率	控除期間	最大控除額
所得税 (ローン減税)	H22	5,000万円	1.2%	10年間	600万円
	H23	5,000万円			600万円
	H24	4,000万円	400万円		
	H25からH26 (3月末まで)	3,000万円	300万円		
	H26(4月以降) からH29	5,000万円※	500万円		
※5,000万円の控除対象限度額は、当該住宅取得に係る消費税率が8%又は10%の場合に限って適用されます。					
住民税の住宅借入金特別控除	<ul style="list-style-type: none"> 消費税率8%または10%が適用の場合: 所得税の課税総所得金額等×7% (最高13.65万円) 上記以外の場合: 所得税の課税総所得金額等×5% (最高9.75万円) ※所得税の税額控除で控除しきれない場合、翌年度分の住民税より減税 				
所得税 (投資型減税)	平成23年12月31日まで標準的な性能強化費用相当額(上限:平成26年3月末までに居住を開始した場合は500万円、以降は650万円*)の10%相当額を、その年の所得税額から控除(控除額がその年の所得税額を超える場合は、翌年分の所得税額から控除することができます。) *650万円の控除対象限度額は、当該住宅取得に係る消費税率8%又は10%の場合に限って適用されます。				
登録免許税 ^(※)	①保存登記 1.0/1000 ②移転登記 戸建 2.0/1000 マンション 1.0/1000	<ul style="list-style-type: none"> ①その者が主として、居住の用に供すること ②新築又は取得から1年以内に登記すること ③床面積が50㎡以上あること ④登記の際に住宅用家屋証明書を提出すること 			
不動産取得税 ^(※)	1300万円控除				<ul style="list-style-type: none"> ①都道府県の条例により申告すること ②床面積が50㎡以上240㎡以下であること
固定資産税 ^(※)	【戸建】 1~5年目 1/2軽減 【マンション】 1~7年目 1/2軽減	<ul style="list-style-type: none"> ①床面積が50㎡以上280㎡以下であること ②長期優良住宅認定通知書又はその写しを添付して市町村に申告すること 			

平成26年7月末現在

認定長期優良住宅に対する住宅ローンの供給支援

【長期優良住宅に対応した住宅ローンの供給支援】民間金融機関が、認定長期優良住宅について最長50年の住宅ローンを供給できるよう、住宅金融支援機構が支援(フラット50)。【長期優良住宅の取得支援】住宅金融支援機構のフラット35Sにおいて、認定長期優良住宅等の場合に利用できるプラン(金利Aプラン)では、金利を引き下げる(年▲0.3%)期間を通常のプラン(金利Bプラン)では当初5年間としているところ、当初10年間に設定。

【お問い合わせ先】青森県建築住宅課 建築指導グループ ☎017-734-9693

3 税制支援策



長期優良住宅は良質な住宅じゃが、その分建築コストも一般住宅に比べると高くなる傾向があるんじゃない。現在、購入しやすいように様々な優遇措置がとられているんじゃないよ。どんな恩恵が受けられるのかみてみよう！

それは、いままでの日本の住宅寿命が欧米に比べて、極めて短いことがあげられるからじゃ。住宅取り壊しの平均築後年数をみるとイギリスは77年、アメリカは55年に対して、日本は30年という極めて短い年数じゃ。なぜかというところ、日本は戦後の焼け野原から脱出すべくすまい確保のため、とにかく「住宅の「量」の確保」を重視してきたんじゃない。しかし、戦後の資材不足などで、当時の住宅の質は



なぜ、今、住宅の長寿命化が必要なの?!

平成21年6月4日「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」が施行され、「いいものをつくって、きちんと手入れして、長く大切に使う」という住宅のストック型社会への、これからの住宅社会のあり方を方向付ける制度が制定されました。さて、どんな制度か、いっしょに見てみましょう！

ふうん、そうなんだ。これからは、もっともっと、ものを大切にしていかなければならない時代なんだね博士。そうじゃな。じゃあ「長期優良住宅」としての認定を受けるために、どういった基準をクリアしなければならぬか、みてみよう！

長期優良住宅の基本的な考え方

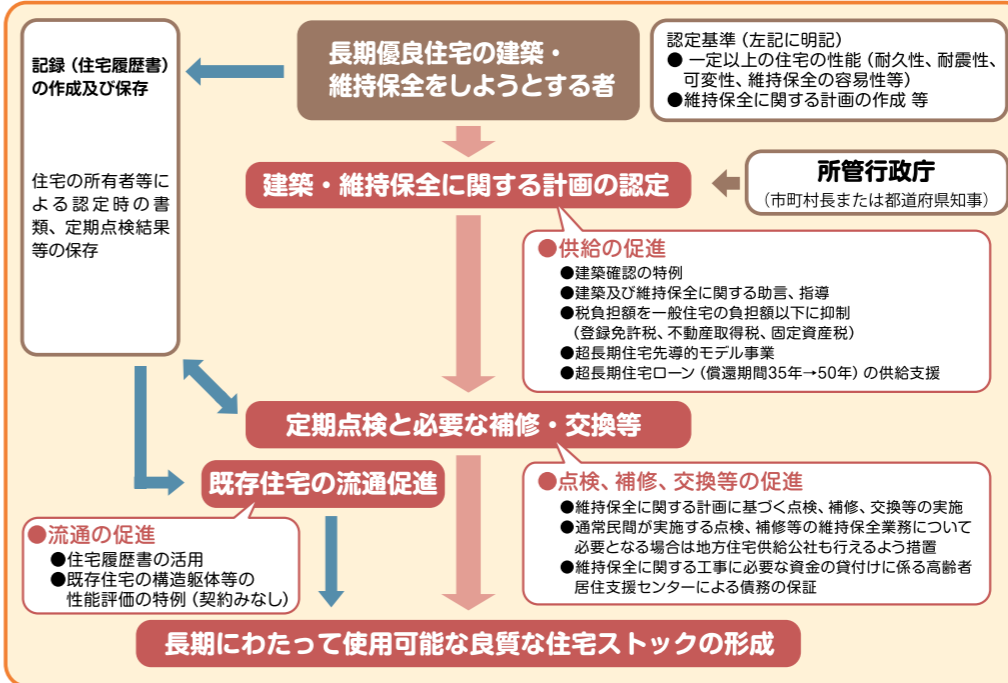
長期優良住宅は、建築段階から、維持保全段階、流通段階の3段階に分かれて、長期的に維持保全されていくように考えられた家づくりなんだ。

建築段階	<ul style="list-style-type: none"> ①長期にわたり良好な状態で使用するため、住宅構造における耐久性・耐震性・維持保全の容易性や、家族の変化に応じて間取りに対応できる可変性の確保 ②次世代に社会的資産として引き継がれるバリアフリー性・省エネルギー性などの確保 ③地方公共団体が行う各規制・誘導措置に沿った住環境への配慮
維持保全段階	<ul style="list-style-type: none"> ①維持保全に関する計画に従って、計画的な点検・調査を行い、必要に応じて修繕・改良などを実施 ②内装や設備について、ライフスタイルの変化等に応じたリフォームの実施 ③設計や建築段階から必要な維持保全の計画を作成、住宅を適切に管理するための体制を整備
流通段階	<ul style="list-style-type: none"> ①住宅が譲渡された後の継続使用 ②住宅所有者による長期優良住宅の建築及び維持保全の状況に関する記録の作成・保存

1 概要



長期にわたり使用可能な住宅のストック型社会の形成のために長期優良住宅の認定を受ける必要がある。ここでは基本的な考えを含め、その流れを次の図で説明しよう。



教えて!

今、注目される長期優良住宅のこと

長期優良住宅認定制度について

Topic

省エネルギー基準が改正されました

※平成25年10月から施行されています。ただし、平成27年3月31日までは経過措置期間として、改正前の基準を用いることができます。

新規

一次エネルギー消費量基準

外皮性能・設備性能等を加味した一次エネルギー消費量基準

外皮の熱性の基準

暖冷房負荷基準（熱損失係数Q値）
夏期日射取得係数μ値基準

改正
基準指標の変更

外皮平均熱貫流率U_A値基準
冷房期平均日射熱取得率η_A値基準
※床面積当りの指標から外皮面積当りの指標へ

地域区分

I～VI地域
(6区分)

改正
一部区分の細分化

1～8地域
(8区分)
※旧I地域、IV地域を各々2区分に細分化

平成11年基準

新基準

住宅の省エネルギー基準の改正概要

住宅の省エネルギー技術者（施工技術者・設計者）を養成しています

青森県木造住宅生産体制強化推進協議会（関係団体と青森県とで構成）では、国土交通省からの支援を受け、住宅省エネルギー技術者（施工技術者・設計者）を養成するため、地域の木造住宅生産を担う大工、工務店、建築士事務所、住宅生産関連事業者等を対象とした講習会を実施しています。

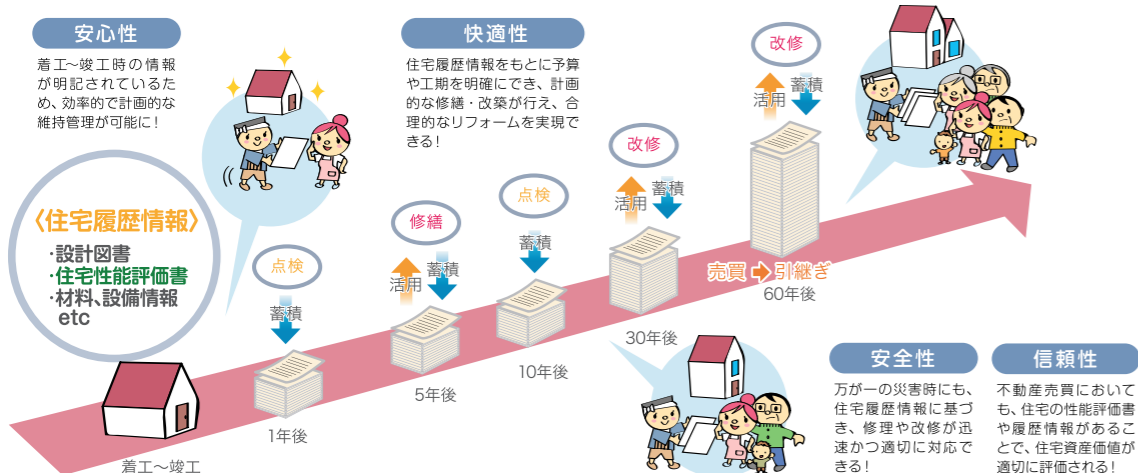
住宅性能表示のメリット

- 円滑で迅速なトラブルの処理・対応**
住宅欠陥などにおける住宅事業者と建築主のトラブル発生時に、円滑・迅速で専門的な紛争処理機能を利用できる。
- 住宅ローンなどの優遇措置**
民間金融機関の住宅ローンやフラット35の手続きが簡単になる場合がある。
- 地震保険も割引対象に**
「建設住宅性能評価」を受けた住宅は、耐震性能の等級に応じた地震保険料の割引が受けられる。
- 保険や認定の手続きが簡単に**
住宅かし保険の手続きや長期優良住宅の認定手続きが簡単になるケースもある。



次に住宅性能表示制度を利用するメリットをご紹介します。

住宅性能評価書は将来に活かす住宅履歴情報



将来、リフォームや家を売るときに住宅性能評価は、住宅履歴情報として、重要なんじゃない。

【お問い合わせ先】株式会社 建築住宅センター ☎017-732-7732

教えて！

住宅性能表示のこと

住宅性能表示制度について

従来は住宅事業者が「高品質」「強耐震」等と誇った住宅には一定の性能基準がなく、比較ができませんでした。「いつまでも安心して暮らせるすまいが、もっと増えるように」との願いから、すまいの安心を守る法律や制度が少しずつ整備され、平成12年から「住宅性能表示制度」がスタートしました。長期優良住宅認定制度の認定基準にもなっているこの制度を知るとは、きっとわたしたちへのメリットもたくさんあるはず。一緒に勉強してみましょ！

住宅の長寿命化では、「住宅性能表示制度」が主なモノサシになるっていうけど、いったいどういふことなの？！



「住宅性能表示制度」は、住宅の長寿命化を推進していく上で、大切なモノサシとなる。それは住宅の性能を等級や数値で表示することで、住宅の品質を確保し、住宅性能レベルを守る基礎になるものじゃ。

例えば、構造の安定や遮音性、省エネルギー等の性能を数値で表示するために共通ルールを定めて、住宅性能を比較できるようにになっておるんだな。新築住宅の建設・購入や中古住宅の購入の際にも大きく役立つんじゃない。

例えば…

Aの家

耐震等級…2
耐火等級…1
劣化対策等級…3
省エネルギー対策等級…4



Bの家

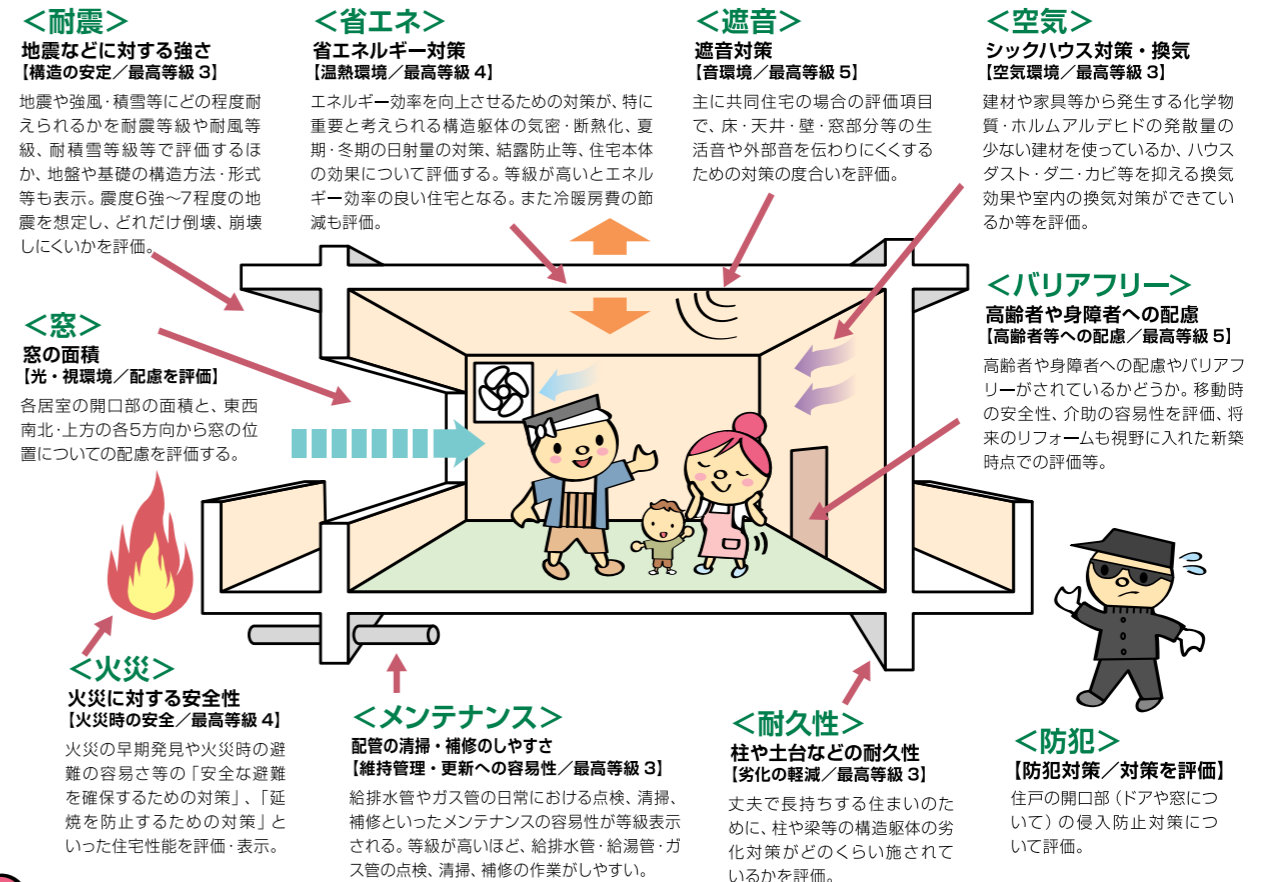
耐震等級…1
耐火等級…2
劣化対策等級…3
省エネルギー対策等級…2



※Bの家よりもAの方が省エネルギー対策が施されている…、などと比較ができる。

住宅性能表示のイメージ

下記の10分野について、等級や対策の表示も含めて住宅の性能を評価。建築基準法に定められるレベル1から、より高い対策を講じた2～5までの等級で示されている。



こういう基準で、住宅の性能を評価するのね～。